

森のおくりもの10月



コシオガマ（ハマウツボ科）



セミや鳴く虫たちの声が全く聞かれない日が多くなり、どんぐりや枯れ葉がおちる音にドキッとすることもあります。「パリパリ…」という音がするので、探してみると、赤とんぼが何かを食べている音でした。

今年の秋は静かな雨の日が続いていましたが、秋の花に加えて木の実や草の実が色づいてきております。彩り豊かな森の秋を探してみませんか。

【写真・文 早坂 徹】



観察の森には、コナラ、ミズナラ、クヌギのどんぐりが見られます。どんぐりの木は他にも、アベマキ、カシワ、イヌブナ、とあるのですが、実が落ちているのを見たことはありません。

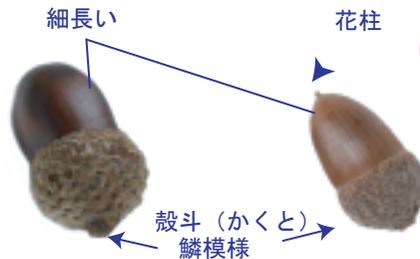
2年かかって熟すもの。1年で熟すものいろいろあります。また、たくさん実る年もあれば、ほとんど実らない年もあります。何故でしょうか？一説には、実りを時々減らして捕食動物が増えすぎるのを調節している、と言われていますが・・・。

どんぐりは、乾燥に弱くネズミなどに埋めてもらわないと実生にはなれません。生き残るには、埋めてもらい、かつ食べ忘れてもらうことが必要なのです。無事に実生になれても、食べられてしまうことだってあります。陰しい道のりですね。



丸い
殻斗 (かくと)
もしやもしや
している

【クヌギ】

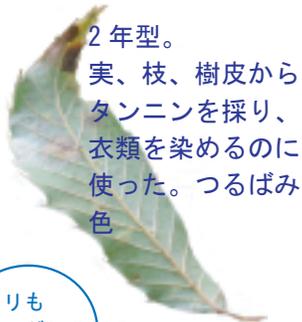


細長い
花柱
殻斗 (かくと)
鱗模様

【ミズナラ】

【コナラ】

どんぐり
くらべ



2年型。
実、枝、樹皮から
タンニンを探り、
衣類を染めるのに
使った。つるばみ
色

両方とも、1年型。秋のうちに根をだします。
(ミズナラはもう根がでていましたよ)
結実パターンは、コナラは不規則で、ミズナラはだいたい1年おきに多くなるようです。
重さの約半分が水なので、時間が経つと水分が減って軽くなります。コナラの方がタンニンが少ないので、食べられやすい。

← 葉柄の長さが違う。 →

クリも
ドングリの
仲間だよ

どんぐりを
食べる
生きもの

クマ、タヌキ、キツネ、サル、シギゾウムシの仲間、
ハイイロチョッキリなど

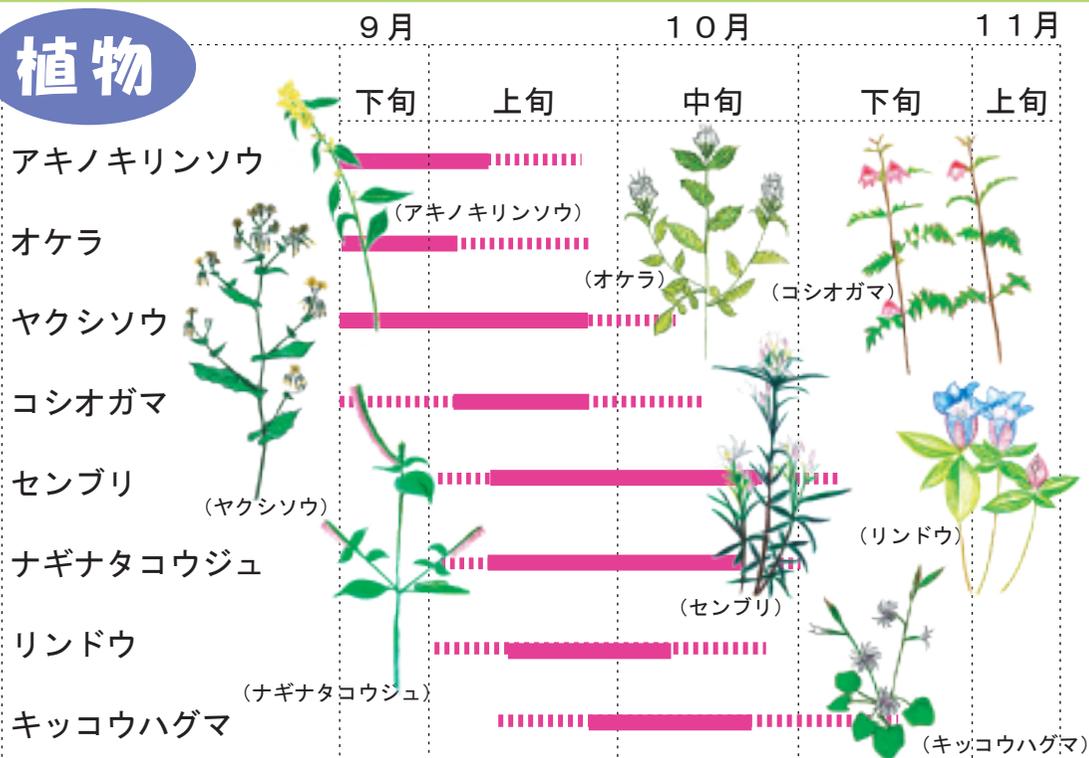
● 種子散布してくれる生きもの
野ネズミ、カケス、リス

【レンジャー：黒川周子】

*日本には、20種類ほどのドングリがあります。

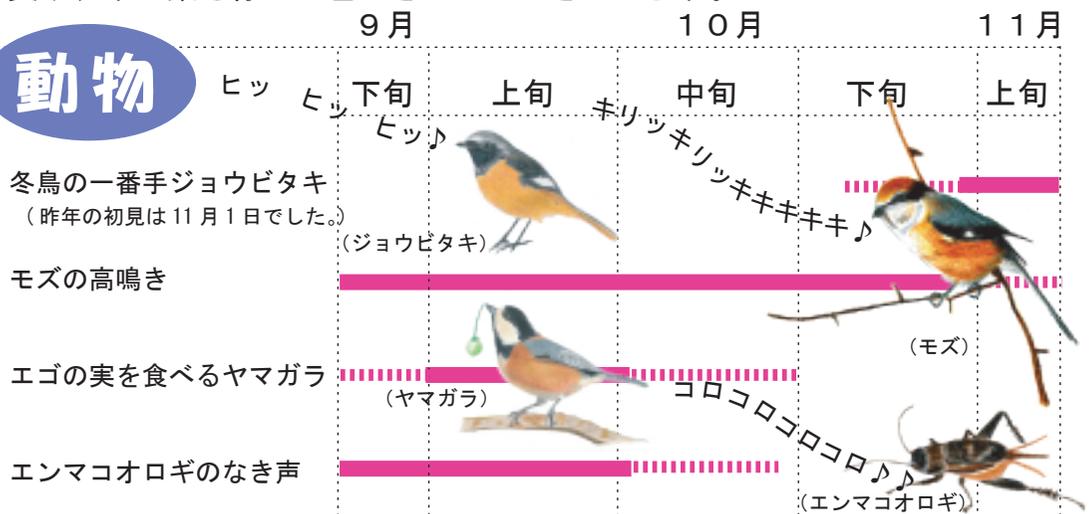
10月の生物ごよみ

植物



9月後半からは雨模様の日が多く、気づくと真夏にたくさん鳴いていたセミの声も聞かれなくなっていました。セミにかわり秋の鳴く虫たち（コオロギやキリギリスの仲間）がたくさん鳴いています。木々の実も大きく実り、木の葉も徐々に色づきはじめてきています。

動物



【レンジャー：齋 正宏】



レンジャーの森の雑記帳



秋が訪れ、きれいなブルーの空に広がるうろこ雲が見られるようになりました。そういえば自然観察の森で何度か小学校低学年の子ども達のガイドをしていて、園内で子どもたちに一番人気のある動物はもしかするとリスかも？と思うときがあります。観察センター前の広場でクルミの木に来るリスの話をする、わあっという歓声とともに本当に目をきらきらさせてまだ現れないリスを探してくれます。そんなときは、ちょっとでもいいのでリスが姿を見せてくれないかなとひそかに願います。何をやっても可愛いリスの仕草は小学生のみならず大人の観察者たちも魅了する愛らしさを持っています。森の住人とも呼ばれているリス達ですが、森林さえあればどこにでも生息しているという訳でもなさそうです。リス達にとって最低限に必要な環境があるのかもしれませんが。太白山自然観察の森で、リスは頻繁には見られるわけではありませんが、それでも運が良ければごく普通に見られてしまう自然環境というのは壊れもののような繊細なバランスの上で成り立っているような気がします。リスが森の中で母親に育てられ、小さい時から必死に木登りの練習をして食料を自分で探すようになり、森を自由自在に駆け巡り、やがて老いて再び森に還っていく。そんな命の連続性を一瞬だけ見るからこそ、リスの生の輝きがなおさら鮮明に見えるのかもしれません。



子どもたちが私に見せてくれた、きらきら光る瞳は、まるで自分が見ることができない近未来を透かしてみせてくれるような、そんな輝きを放ち、森でリスを偶然見かけたときのような不思議なうれしさと似ているなと感じました。

【レンジャー：阿部正明】

桂

ハートの葉っぱとバナナのような実

観察の森では今の季節、トンボの沢で必ずカラメルのような甘い香りに出会います。そう、カツラの葉の匂いです。というわけで今月はカツラのお話です。

トンボの沢と小鳥の森のカツラは、開設時に植えられたものですが、秋保の二口溪谷には自生のものが見られます。

カツラは世界にも2種1変種しかなく、日本にカツラとヒロハカツラの2種、中国に1変種があり、日本の固有種と言えます。それ故古代から日本人には馴染みが深く、「万葉集」にも多く登場します。6世紀に起源のある京都の葵祭にも、葵の御紋と一緒にカツラの小枝も飾られているのはご存知でしょうか？

この由緒正しきカツラ、現代では「かわいい文化」にピッタリしていると私は思います。何故ならあの丸っこいハートの葉っぱ、若葉の時期は透き通った黄緑色の葉は、太陽の光をよく通しキラキラ輝きます。秋になると黄色に色づきお菓子のような匂いがする訳です。また、カツラの実にはバナナそっくりの形で、きっと森の小さな妖精がおいしそうに食べているに違いありません。

こんなメルヘンチックな想像をしながら、トンボの沢のカツラの木の下を是非歩いてみてください。

- ・カツラ科カツラ属
- ・雌雄異株
- ・落葉高木
- ・日本固有種で北海道から九州まで分布
- ・葉は単葉。長枝では互生



ハートの形の葉っぱ



バナナの形の実

桂 物知りメモ



盛岡市 龍源寺
樹齢 190年

岩手県には世界的にも珍しい突然変異の**シダレカツラ**があります。この木はその昔、早池峰山麓にあったたった1本の木でした。

元来カツラの木は直立型の枝ですが、この木はその名のとおり太い枝が大きく下向きに曲がり、葉のついた細い枝は長く垂れさがっています。木の根元に立つと、葉っぱのカーテンに囲まれた空間があり、とても幻想的です。

【レンジャー：遠藤和子】

10月のイベント & お知らせ



◆きのこ観察会

10月15日(土) 10:00~11:30

・キノコの専門家と共に、秋の森に生えるキノコを観察します。

【定員】20名

【持ち物】歩きやすい服装(長袖長ズボン)、帽子、歩きやすい靴
飲み物、雨天時は雨具(カッパ)

【申込み】10月6日(木)午前9時から電話で受付〔先着〕



◆太白山の秋をたずねて

10月22日(土) 10:00~15:00

・紅葉に染まった太白山に、自然観察しながらゆっくり登ります。

【定員】20名

【持ち物】歩きやすい服装(長袖長ズボン)、帽子、歩きやすい靴
飲み物、雨天時は雨具(カッパ)

【申込み】10月7日(金)午前9時から電話で受付〔先着〕

◆館長と森を歩こう

10月30日(日) 10:00~11:30

・森の植物や生き物の不思議や発見を体験します。

【申込み】不要 直接会場へ



毎週
日曜は

『ガイドウォーク』の日!

10月の開催日は2日、9日、
16日、23日、30日です。

開催時間: 10:00~11:30
13:30~15:00

今月のガイドウォークのテーマは
『たねの旅立ち』



表紙の絵や
原稿を募集
しています。

里山や自然に関するものを
描いて(書いて)ね!
レンジャーからのプレゼント
があるよ!!



10月の休館日
3日、11日、17日
24日、31日

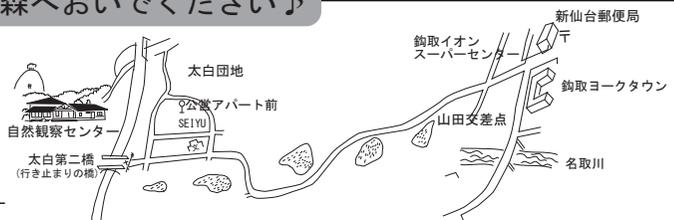
♪森へおいでください♪

宮城交通バスの場合

仙台駅前バスプール7番 または 長町駅から
山田自由ヶ丘車庫 行きに乗り
公営アパート前 で下車、徒歩15分でセンター

お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター



スタッフBLOG開始しました!
自然観察の森の最新情報、「森のおくりもの」
バックナンバーはWebでチェック!

2016年10月号(毎月1回5日発行)
発行:(公財)仙台市公園緑地協会
編集:仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター
〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63
Tel: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133
E-mail: taihakan_moushikomi@sendai-green-association.jp

「社のひろば」URL: <http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakan/index.html>